2020.6.26
vol.57

ひかり苑 NOW

生きがいのある生活をめざして

障害者支援施設 ひかり苑
〒743-0051 光市岩狩3丁目1-2
TEL(0833)77-2000
[URL] http://www.hikarien.jp

感じとる力

施設長
國澤　宗厳

人には、もともと生き抜くために「互いに理解しあい、信頼しあい、協調する能力」が備わっていると言われていますが、その能力を呼び覚ますために必要な「情報」がないと、その能力を発揮することが出来ないと言われています。

ある研究者によれば「スマートフォンなどの情報機器の発展により、視覚と聴覚に基づくコミュニケーションは大きく開け、人々のつながりあう可能性は広がったが、信頼できる人の輪はかえって小さくなった」と言われています。

私たちは、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚など、五感を使ってものごとを知覚していますが、現在では、視覚、聴覚だけが突出したコミュニケーション社会となっています。

ある方の体験談ですが、母の介護が必要となった頃、ある時一緒に歩いていると、母の足元がおぼつかないように見えたので、とっさに腕を取ったそうです。母の状態は、見たり、聞いたりして、ある程度はわかっているつもりだったそうですが、母の腕に触れた瞬間、弱ってしまった母のことを直に感じ、体の状態を一瞬で理解したとのことです。大変ショックだったそうですが、「母を支えなければ」という感情がより強く湧いたそうです。

人を抱擁(握手も含む)する時に、脳内で分泌されるオキシトシンというホルモンがあります。脳内でオキシトシンが急増すると、人はいつもより優しく、寛大で、協力的で、思いやりのある行動をとるようになるそうです。

福祉の場においても、情報機器(視覚、聴覚)の発展により、知識や技術は飛躍的に伸びていますが、人がふれあう(触覚)ことではじめて感じとる「情報」こそ、障害福祉の場には必要なのではないかと感じております。

Report　福祉QCサークル活動報告

今年度も引き続き、職場での課題や気づきを改善、標準化することで統一したサービスを提供する福祉QC活動に取り組みました。今年度はメンバー内で話し合い、取り組むテーマを決めました。

テーマは**「施設職員の常識を世間の常識に近づける！」**です。

まずは『現状把握』し、次に『目標設定』を行い、『対策を実施』していきます。
現状把握では、当施設での実際の様々な支援内容について検討し意識のレベルを数値化、平均値を出しました。
目標設定では、意識改革（意識の変化）を図りました。
対策の実施では、施設内研修会を実施しました。有識者【弁護士、大学講師、法人内の老人福祉施設ひかり苑統括部門長、外部の障害者施設支援課長】をお呼びしてパネルディスカッションを開催しました。

グループワーク
事例検討会

パネル
ディスカッション

グループワークと施設内研修【パネルディスカッション】
更にグループワークを重ねていくことで職員の意識レベルに意識改革（意識の変化）が起き、目標を達成することが出来ました！
また、有識者の専門家としての知識や見解を聞くことで、それぞれの職員が支援について改めて考えました。そして専門家の方々のお話を聞くことで、職員からは『エビデンスの大切さを理解した』、『考えに幅が持てるようになった』、『自信が持てるようになった』、『支援が楽しくなった』など、新たな発見や考えが持てるようになりました。

●サークルメンバー
生活支援員4名
●受賞
中四国大会【最優秀賞】
全国大会【敢闘賞】

障害者支援施設ひかり苑/公式SNSのご紹介

年間行事を中心に、日々の活動や参加、開催した研修など更新しています。アクセスおまちしています。

Web Site	Facebook	Instagram	Twitter
www.hikarien.jp	@hikarien.f	@hikarien_official	@hikarien2000

障害者支援施設 ひかり苑 の理念

生きがいのある生活をめざして、三つの理念のもと、取り組んで参ります。

人間の尊厳	共感する心	専門職として、常に相手の立場にたって考え、ご利用者と共感できる姿勢を目指します。
	謙虚な心	専門職として、地域福祉の向上を目指し、ご利用者、地域から学ぶ謙虚さを大切にします。
	感謝する心	専門職として、経験を積めること、働けることに対して感謝の気持ちをもちます。

やよい幼稚園 交流会

園児さんたちからの歌や踊りの披露の後で、参加者全員で曲に合わせてミュージックケアを行いました。

ライオンズクラブ 交流会

「鬼は外!福は内!」と言いながら豆まきを行い、無病息災を祈りました。
節分に合わせ鬼に扮したライオンズクラブの皆様に会を盛り上げていただきました。
ありがとうございました。

ひかり苑 成人式

今年は女性の一人が成人を迎えられました。多くのご来賓、ご利用者、ご家族からお祝いの言葉が贈られました。

新型コロナウイルス感染防止のため、3密を避けた活動を計画、実施しています。桜や新緑を眺めての散歩で季節を感じたり、室内でのレクリエーションを楽しんだりしています。

もちつき のど自慢大会

今回も浅江やろう会、ミュージックキャラバンの皆様、多くのボランティアのご協力で開催できました。
ありがとうございました。
午前の「もちつき大会」では釜で蒸したもち米を杵でつき、できたてのお餅を雑煮やぜんざいで堪能しました。冬の寒い中での催しで、焚き火で暖をとりながら五感で季節を感じます。
午後からの「のど自慢大会」では、ミュージックキャラバンの迫力ある演奏で好きな歌を披露しました。
ボランティアの方たちの歌もあり、大盛況でした。

光障連（光市障害児者 体育大会）

百足競争、輪投げ、風船を挟み息を合わせてリレーする愛情測定、チーム対抗ボール送り、勝ち抜きで優勝者を決めるじゃんけんゲームなど
いろんな競技に参加しました。
多くの参加者と時に協力し、時に競い合い、大会を楽しみました。